

議会だより

― 一般会計決算認定など

可決・認定等―

平成28年度第3回定例議会は、9月2日召集され、9日までの会期で開催されました。本定例会では、7名の議員が町政について一般質問を行いました。

なお、可決認定等された案件の概要は次のとおりです。

条例案件

◆ 専決処分

・吉野町ひとり親家庭等医療費助成条例の一部を改正する条例(承認)

児童扶養手当法施行令の一部改正に伴い条例の一部改正が行われました。

◆吉野町都市計画審議会条例の一部を改正する条例(可決)

吉野町課設置条例の一部改正に伴い条例の一部改正が行われました。

◆吉野町消防団員の定員、任免、給与、職務等に関する条例の一部を改正する条例(可決)

消防団員の定員400人を現員の405人に改める条例の一部改正が行われました。

予算案件

◆平成28年度吉野町一般会計補正予算(案)第2号(可決)

既定の予算総額に、歳入歳出それぞれ2億6,715万8千円を追加し、総額57億9,528万3千円となりました。

歳入の主なものとは普通交付税の増額、臨時財政対策債の減額の補正、歳出の主

なものとは大字施設整備等助成金、財政調整基金積立金、町制60周年記念事業費、自伐林業推進事業、町道管理事業、河川整備事業、定住促進住宅新築事業等の増額及び介護保険事業特別会計繰出金の減額、並びに7月の機構改革に伴う人事異動による人件費の調整等の補正です。

◆平成28年度吉野町介護保険特別会計補正予算(案)第2号(可決)

保険事業勘定の既定の予算総額に、歳入歳出それぞれ660万円を追加し、総額10億824万6千円となりました。

主なものは、介護ロボット導入に対する交付金、財政調整基金積立金、平成27年度事業の精算に伴う国庫支出金等過年度分返還金等の増額補正です。

◆平成28年度吉野町簡易水道事業特別会計補正予算(案)第1号(可決)

既定の予算総額に、歳入歳出それぞれ2,401万5千円を追加し、総額13億4,645万8千円となりました。

水道事業変更認可業務委託料にかかる増額補正です。

◆平成28年度吉野町下水道事業特別会計補正予算(案)第2号(可決)

既定の予算総額に、歳入歳出それぞれ355万円を減額し、総額2億5,115万円となりました。

7月の機構改革に伴う人事異動による職員給与費の減額補正です。

◆平成28年度吉野町水道事業特別会計補正予算(案)第2号(可決)

収益的収入及び資本的収入については、一般会計からの繰出し基準の変更による増額補正で、収益的支出及び資本的支出については、職員手当等の増額補正です。

決算案件

◆平成27年度吉野町一般会計歳入歳出決算の認定(認定)

◆平成27年度吉野町国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定(認定)

◆平成27年度吉野町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定(認定)

◆平成27年度吉野町介護保険特別会計歳入歳出決算の認定(認定)

◆平成27年度吉野町簡易水道事業特別会計歳入歳出決算の認定(認定)

◆平成27年度吉野町下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定(認定)

◆平成27年度吉野町農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定(認定)

◆平成27年度吉野町土地開発基金会計歳入歳出決算の認定(認定)

以上8件の認定、6〜7頁別表のとおり。

契約案件

◆吉野山地区簡易水道統合事業中央監視装置及び送水ポンプ盤設置工事請負契約の締結(可決)

契約方法 一般競争入札
契約金額 78,840,000円

契約の相手方 松田電気工業株式会社
代表取締役 辻 修(大和高田市栄町)

委員選任

◆吉野町教育委員会委員の任命につき同意を求める(同意)

本年9月30日をもって、町教育委員会委員 木村 雅年氏 の任期が満了するため、山口 昇 氏(小名)を任命することについて、議会の同意を得たものです。

要望等

◆上市町内会連合会会長 轟町内会長 梶井 啓司 氏 ほか7名からの「消防車両更新についての要望」について(採択)

報告案件

◆平成27年度決算に基づく吉野町健全化判断比率等の報告(受理)

町財政の健全化判断比率等について、書類が適正に作成されており、比率は基準と比較すると概ね適正であるとの監査委員の審査意見書が添付され報告されました。7頁のとおり。

◆地方自治法第180条第1項の規定による専決処分の報告(受理)

町有地内での接触事故に係る損害賠償額を定めて和解を行った報告がされました。

その他の案件

◆辺地総合整備計画の変更(可決)

小名地内の町道の事業費について、平成28年度において追加工事を行うために辺地対策事業債の予定額の変更を行ったものです。

その他

議員派遣について、各委員会の所管事項に関する閉会中の継続審査について議決されました。

一般質問

次のとおり一般質問が行われました。

◆辻本 茂 議員から

・『日本一の子育てを目指す吉野町の子育て支援並びに教育指針等の現在進捗状況は住民ニーズに合った行政であるのか?』について

・『日本一の健康長寿を目指す吉野町の老人福祉等の現在進捗状況は住民ニーズに合った行政であるのか?』について

・『男女雇用均等法・女性活躍推進法に鑑み、町職員のみなさんの働き方』について

◆上滝義平 議員から

・上水道と簡易水道の統合について
・地籍調査と固定資産税の問題について

◆藪坂眞佐 議員から

・高齢者が生きがいを持って住み続けられる吉野町のために
・吉野町の歴史や文化を次世代につなぐ取り組みを

◆西澤巧平 議員から

・一人暮らしになっても安心して住み続けることのできる町にするために

◆中西利彦 議員から

・定住促進住宅について
・各大学の集会所(公民館)の利用について

◆野木康司 議員から

・債権管理について
・観光資源の利活用について

◆中井章太 議員から

・事業所得の向上に繋がる行政政策について

それぞれ質問が行われ、町長、教育長及び担当参事が答弁を行いました。

校舎解体を前に

国栖の里にぎわいフェスタ ～大運動会～ 開催される

9月11日、旧国栖小学校グラウンドで国栖の里にぎわいフェスタ～大運動会～が開催され、地域の方などおよそ250人が集まりました。



競技名：何秒で走れるかな?

この大運動会は、旧国栖小学校解体前に地域の人々が集まり、楽しく思い出に残るイベントをしたいという想いから、自治協議会等で検討し開催となりました。

参加者全員で準備体操をして競技がスタート、昼食時間には校舎3階が開放され、参加者は解体前の校舎を見学しました。教室や廊下には子どもたちが賑わっていた頃の写真が展示され、参加者自身や家族や知り合いの写真を懐かしそうに眺めていました。



教室の黒板にみんなで落書きをしました

この旧国栖小学校校舎は、今年度中に解体される予定です。解体後の跡地の利活用については、国栖地区自治協議会の地域活性化部会で、地区内の暮らしを更に豊かにするための拠点となるよう検討が重ねられています。

イオンリテール

桜基金寄附

9月30日イオンモール大和郡山店にて、イオンリテール(株)から吉野山の桜保全継承を応援する電子マネー「吉野さくらWAON」カード利用額の一部193万9,599円の寄附を受けました(累計752万2,371円)。



写真右よりイオンリテール(株) 執行役員 近畿・北陸カンパニー 後藤支社長、北岡町長、吉野町商工会 中井会長

「吉野さくらWAONカード」は、吉野町の産業・観光振興及び地域の発展のために平成23年2月に吉野町とイオングループが交わした業務提携の一環で、吉野の桜の保全を目的に発行され、このカードの利用額の一部が吉野桜基金に寄付されます。

吉野山の桜を今後も保護し継承していくため、これらの寄付金は有効活用されていきます。